

山崎の事

成徳の事

成徳の事

成徳の事

成徳の事

成徳の事

鹿之次

一町ノ足中云ハ麻ノ茎葉を走とク成法麻  
是と名附鹿の山野を走歩と云ク以物と糸  
をみと云ハ口は是に由テ細也と不構次  
と云ク上とあきと歩下と云ク也と云ク是法  
出とハおらと駒乃ハ小南と云ク一巻を角也  
馬ノ事と云テ糸と云クハ是法也云々  
物ノ事と出と云ハ法ハ法也云々 其由リ  
法ハの方とハ法下テ弱ハ此方天小取正徳と  
云ク云ク一麻と云クハ也と云ク大と云クハ是の

凡るあぐと成地中踏付極よとあま馬の飛うけ  
 けゆく成と角是と可成る赤うく是と云と成  
 不知る諸是と名附る事ハ九何乃是並と云  
 七華の是と中や切ゆなるノ諸是と云何と云  
 あはくこと成成ゆこと由らる徳合と納ゆの  
 心さゆ入は別うあはく依く約乃はまら傳も不  
 知うく是小家とつくと約氣をちうく心うと云  
 とはいつゆと角是成大さよと家付と後執は  
 網の理結を糸へく約の理結をりやうと皆物糸  
 と成る勿備あり是に



丁固鞍拘之事あり居本に居り腰弛と一文  
 字に端法に申好の口にいりあるは強れ句の端切  
 け字から兒を食と扱あり丁固く是余由よ  
 馬の不知れは弱は方より強を世とよくふ  
 畜養をまわく強を中頭よ上ケぬらうと思ひ  
 才は強より強入あり二二篇と余を後い又  
 中頭を上げよ余法余是に成馬信合んらく  
 行とありと兒と治り居本小居りく右あり  
 是成余より時法拘合めあは油の連と一余  
 と固よりとくはく強と兒の弱は方とよかん

かまのあへととい切端を治り又連と丁余の  
 あへも右拘りあり馬のいりよはまへとい切  
 治りて強を合つ余より強と角も馬の方より  
 余は小弱ふあを治り美曲余はなよりと兒丁  
 直をよりぬ時を直により皆曲と弱也又流流と弱  
 のとこの為秘変り地流へも流るも又強るとおの  
 あらば二高は鞍鼻の上葉坪乃鞭丹の根合は  
 鞭急りりひ肩骨掛ておへくは是鞍敷と表はち  
 くはらふもよ弱の子馬は運是に弱よりとい  
 是は是も小弱は治りありと丁固也はははは





其行とあり一是小成時を強まればゆくと弱方へ  
 まげかゆ也とあり一是宗内に強はる方へと接る  
 小なり核内とゆくとしつこく行とあり一は成  
 成はるともみは口にあくこは衝はつて是とゆくと  
 につこくは強もの口は先へ出た行をりし也  
 口ゆくとわしつと強しに強んとと強まれば  
 とあり強ある居来に福とと強とかあへり強出  
 方へと強方乃居来後まし強が強出次と弱は  
 強く強又強なるとありましくは先は強年双眼  
 強よ成掛あり打強し若湯水の鞭着先は是強く  
 強よ強と未と強是に福と強と強と下へ一その  
 強を下ゆとと一先と友とをふと強味よのひと  
 とあり一是乃強秘事あり九行乃強と強  
 強つふも平竟は強是に福し度との事あり  
 強是小不強生馬と百年強系不強生乃強と強は  
 強是よ強事あり強と云とと強文と強く見  
 物乃強不強の責る此時と強納し馬毎強二  
 三篇強是に強といふとあり強傳文と強乃  
 強法天雲と強しと強の奥と強ふたなりしに

其行とあり一是小成時を強まればゆくと弱方へ  
 まげかゆ也とあり一是宗内に強はる方へと接る  
 小なり核内とゆくとしつこく行とあり一は成  
 成はるともみは口にあくこは衝はつて是とゆくと  
 につこくは強もの口は先へ出た行をりし也  
 口ゆくとわしつと強しに強んとと強まれば  
 とあり強ある居来に福とと強とかあへり強出  
 方へと強方乃居来後まし強が強出次と弱は  
 強く強又強なるとありましくは先は強年双眼  
 強よ成掛あり打強し若湯水の鞭着先は是強く  
 強よ強と未と強是に福と強と強と下へ一その  
 強を下ゆとと一先と友とをふと強味よのひと  
 とあり一是乃強秘事あり九行乃強と強  
 強つふも平竟は強是に福し度との事あり  
 強是小不強生馬と百年強系不強生乃強と強は  
 強是よ強事あり強と云とと強文と強く見  
 物乃強不強の責る此時と強納し馬毎強二  
 三篇強是に強といふとあり強傳文と強乃  
 強法天雲と強しと強の奥と強ふたなりしに

依白紙印可之時より外御示日不可傳史者  
也可秘日傳之

大伴武部大輔 庵王慶秀年八十四五月廿日

村上加賀守 永業孫之部入道沙金年六十二二月曾

文明九年十月十日 汝藤伯前入道芳蓮在判



修  
昭  
和  
二  
年  
十  
月  
文  
庫

